



学校だより

令和6年度4月号
令和6年 4月8日(月)
さいたま市立大谷口中学校

【学校教育目標】 かしこく 美しく たくましく

令和6年度のはじめにあたって

校長 小林 正樹



桜の花が次々に開き、美しい季節となりました。例年より遅く咲き始めた正門付近の桜も見事でした。地域の皆様、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃より、本校の教育活動の充実・発展のためにご支援、ご協力を賜りますことに厚く御礼申し上げます。本校4年目となります、校長の小林正樹でございます。本年度もよろしくお願いいたします。

本年度、253名の新生を迎え、生徒数720名、通常学級20クラス、特別支援学級2クラスの計22学級での教育活動をスタートいたします。令和6年度は大谷口中学校創立50周年を迎えます。伝統ある大谷口中学校の良さを受け継ぎ、生徒、保護者、地域の期待に応え、信頼され、愛される学校づくりを目指し、教職員一同全力で取り組んでまいります。

本校の学校教育目標は「かしこく」「美しく」「たくましく」です。また、新年度のはじめにあたり、学校経営の5つの基本方針についてお知らせいたします。今年度のスローガンを「自分に自信をもち、自分や周りの人を大切にできる生徒の育成」～大谷口中学校は自分に自信がもてるように、あなたを応援します～といたしました。

- 生徒の学校生活における様々な不安を解消し、生徒と生徒、生徒と教職員、保護者と教職員の心の通い合いのある温かな雰囲気の間関係醸成に努め、生徒、教職員がやりがい、生きがい（自己肯定感）を感じられる学校づくりを推進します。
- いじめ防止基本方針を踏まえ、自分の命を大切に守り、自他の人権を尊重し、他者の痛みを共有できる心、いじめを許さない心、差別を許さない強い心を育てます。
- 「個別最適な学び」では、ICTを積極的に活用した授業改善を図り、生徒の可能性を引き出した「協働的な学習」「探究的な学習」を実践し、学習に対する自信や満足感を得ることができるようになります。
- 家庭・地域との連携を大切に、信頼され、愛される学校づくりを推進します。また、小・中一貫教育を踏まえ、関係小学校と、学びの連続性を充実させます。
- 「わかりやすい授業」の展開と反復等により、基礎・基本の確実な定着に努め、学力の向上を図ります。さらに、「さいたまSTEAMS教育」「SDGs教育」などを通して、「教科横断型」の探求的な学びを推進します。

さらに、重点として、次の3点を掲げます。

- (1) 生徒を認め、ほめて、自己肯定感を醸成します。
- (2) 生徒指導・教育相談事案への迅速・適切な組織的対応とアフターケア並びに関係諸機関との積極的な連携に努めます。
- (3) ICTの積極的な活用を通じた生徒の学習意欲の喚起と、基礎・基本の定着、並びに主体的・対話的で深い学びの充実に努めます。

以上、生徒一人ひとりの多様な幸せ(Well-being)を大切にする学校づくりに努めていきます。教職員一同、学校教育目標達成のため、学校経営の基本方針等を踏まえ、全ての力を結集して、毎日の教育活動を行ってまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。